

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度～28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	鳥居川上流 （とりいかわじょうりゅう） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 北信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は長野県長野市北部の上信越高原国立公園内に位置し、千曲川中流の左岸に合流する鳥居川の上流域となっている。</p> <p>上流部は、貫入岩の閃緑斑岩が分布し雄大な自然美を形成している断崖となり、下流部は扇状地形を呈し崖錘堆積層は長年にわたり土砂が供給され層厚は数メートルにおよんでいる。また、溪床の一部は天井川的な地形を示し、比較的緩やかに蛇行しながら流下しており、屈曲部は溪岸侵食が進み、洪水時には土砂等が林内へ流入している箇所も見られる。</p> <p>下流域には、保全対象として戸隠牧場、発電施設、主要地方道36号線等があり過去洪水時には土砂が下流の施設まで流れ出す被害が発生している。</p> <p>このため、溪間工及び護岸工により山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 溪間工 7基 護岸工 2箇所 ・主な保全対象 発電用取水施設1戸 県道(橋梁)1箇所 農道30m ・総事業費 70,500 (千円) 		
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B) 161,090 (千円)</p> <p>総 費 用 (C) 64,114 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 2.51</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床内に堆積する不安定土砂の状況から、放置すると今後の集中豪雨等の際に、不安定土砂が流出し下流域に被害を与える恐れが高い。このため溪間工及び護岸工により山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、溪岸侵食及び不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山
 施工箇所：鳥居川上流

都道府県名：長野県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,988	
	流域貯水便益	1,084	
	水質浄化便益	1,846	
災害防止便益	山地災害防止便益	156,172	
便 益 合 計 (B)		161,090	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		64,114	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{161,090}{64,114} = 2.51$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）		事業計画期間	平成24年度～27年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	サカイ沢 （さかいさわ） （長野県）		事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は長野県松本市奈川東部に位置し、地区一体は北アルプスの中腹部に位置する。 地質は古生層で風化作用が進んだ黒雲母花崗岩・砂岩・礫岩・チャートなどからなる地質で構成されている。そのため地質は大変脆く集中豪雨等の際には上流からの土砂礫が流下し、溪床内には不安定土砂が堆積しており、その都度保全対象である県道奈川木祖線を脅かしている。 平成21年梅雨前線豪雨に伴う集中豪雨により、山腹崩壊が発生し不安定土砂となって堆積している。 このため、山腹工による崩壊地の復旧及び溪間工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 山腹工0.20ha 溪間工3基 ・ 主な保全対象 県道 320m ・ 総事業費 68,000 (千円) 			
費用対効果分析	総 便 益 (B)		93,606	(千円)
	総 費 用 (C)		61,956	(千円)
	分析結果 (B/C)		1.51	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 現在も崩壊地の侵食が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等の際に崩壊地の拡大や不安定土砂が流出し下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>			

様式1

整理番号

2

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：長野県

施工箇所：サカイ沢

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,436	
	流域貯水便益	927	
	水質浄化便益	1,578	
災害防止便益	山地災害防止便益	87,665	
便 益 合 計 (B)		93,606	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		61,956	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{93,606}{61,956} = 1.51$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	大平沢 （おおひらさわ） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県軽井沢町の南部に位置し、周辺には別荘地・ゴルフ場が開設され、下流域には上発地の広大な農地が広がっている。また、妙義荒船佐久高原国定公園に指定されており、水源涵養はもとより、山岳レクリエーション及び保健休養の場を提供する重要な地域である。地質は安山岩質の凝灰角礫岩・凝灰質礫岩・凝灰質砂岩および頁岩から構成されている。</p> <p>平成19年9月の台風9号がもたらした豪雨により、新規崩壊地が多数発生し、溪流においても崩壊土砂の堆積及び二次侵食による荒廃が発生した。また、妙義荒船林道沿線においては山腹崩壊等による土砂流出により、林道が被害を受けた。</p> <p>当地区下流域には、上発地の耕作地帯が広がっており、この耕地へ農業用水を供給する温水貯水池が当地区の直下にあり、今後の降雨によっては貯水池に溪流内不安定土砂が大量に流出する恐れもある。</p> <p>このため、山腹工による崩壊地の復旧及び溪間工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 溪間工 3基・山腹工 0.48ha ・主な保全対象 人家 6戸・町道 350m・林道 250m・農地 50ha ・総事業費 85,500（千円） 		
費用対効果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・総便益（B） 230,493（千円） ・総費用（C） 77,724（千円） ・分析結果（B/C） 2.97 		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 現在も崩壊地の侵食が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等の際に崩壊地の拡大や不安定土砂が流出し下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号

3

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：長野県

施工箇所：大平沢

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,633	
	流域貯水便益	1,616	
	水質浄化便益	2,751	
災害防止便益	山地災害防止便益	222,493	
便 益 合 計 (B)		230,493	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		77,724	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{230,493}{77,724} = 2.97$		

様式1

整理番号

4

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

施工箇所：雨川上流

都道府県名：長野県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,643	
	流域貯水便益	2,497	
	水質浄化便益	4,252	
災害防止便益	山地災害防止便益	193,211	
便 益 合 計 (B)		206,603	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		70,387	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{206,603}{70,387} = 2.94$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成27年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	牛馬沢 （ぎゅうばさわ） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県佐久市の東部群馬県境に位置し、対象区域のほとんどは、火山破屑物でしめられている。妙義荒船佐久高原国定公園に指定されており、当地区内には国道254号線と妙義荒船林道を結ぶ市道（旧国道254号線）が縦断している。近接する流域には内山牧場、物見山別荘地、初谷温泉、荒船不動等があり、保健休養的要素が強く来訪者の多い地域である。</p> <p>平成19年9月の台風9号に伴う豪雨によって新生崩壊地が多く発生した。荒廃溪流は崩落土の堆積と、古い堆積物の二次浸食及び溪岸浸食が進行したもので、岩盤上に不安定に堆積しており、今後の集中豪雨の際には流出する危険性は高い。このため、山腹工により崩壊地を復旧し、溪間工で溪流の安定を図り、不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安機能の増進を図ることを目的に、本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 溪間工 5基・山腹工0.27ha ・ 主な保全対象 人家 5戸・国道50m・市道300m ・ 総事業費 74,000（千円） 		
費用対効果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総 便 益（B） 244,492（千円） ・ 総 費 用（C） 68,399（千円） ・ 分析結果（B/C） 3.57 		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 現在も崩壊地の侵食が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等の際に崩壊地の拡大や不安定土砂が流出し下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られる事から、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号

5

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：長野県

施工箇所：牛馬川

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,059	
	流域貯水便益	380	
	水質浄化便益	647	
災害防止便益	山地災害防止便益	242,406	
便 益 合 計 (B)		244,492	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		68,399	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{244,492}{68,399} = 3.57$		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成24度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	小木曾19 （おぎそ） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県木曾郡木祖村の北部に位置し、木曾川の源流部で中京圏の水瓶である味噌川ダムの重要な水源林となっている。</p> <p>地形は、急峻で起伏量の大きな形状を呈している。地質は、粘板岩、砂岩の互層で形成されており風化・侵食の影響を受けやすく脆弱である。</p> <p>H18年7月の豪雨時に溪流の増水により溪岸が侵食され、その上部山腹斜面が崩壊した。崩壊地は年々拡大傾向にあり、崩壊地内には倒木を含む不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨等により崩壊地の拡大や不安定土砂や倒木が味噌川ダムへ流入することが懸念される。</p> <p>このため、溪岸侵食防止と山脚固定を兼ねた土留工及び山腹工を施工し、崩壊地の復旧を図り不安定土砂等の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 山腹工 0.20ha ・ 主な保全対象 林道 300m 橋梁 1箇所 ・ 総事業費 35,000 (千円) 		
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B) 88,683 (千円)</p> <p>総 費 用 (C) 33,654 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 2.64</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 現在も崩壊地の侵食が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等の際に崩壊地の拡大や不安定土砂が流出し、下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号

6

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：奥地保安林保全緊急対策

都道府県名：長野県

施工箇所：小木曾19

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,733	
	流域貯水便益	945	
	水質浄化便益	1,608	
災害防止便益	山地災害防止便益	79,397	
便 益 合 計 (B)		88,683	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		33,654	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{88,683}{33,654} = 2.64$		

事前評価個表

事業名	奥地保安林保全緊急対策（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成25年度（2年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	南木曾－33 （なぎそ） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署南木曾支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県の南西部、木曾郡南木曾町の中央に位置し、地質は、風化の進んだ粗粒な花崗岩類で構成され非常に脆弱である。また、木曾山地の急峻な地形のうえ、地理・地形的特性に起因する局所的な集中豪雨が頻発しやすい地区であり荒廃が進んでいる。</p> <p>平成23年9月の台風15号の接近にともなう集中豪雨により、南沢右岸山腹斜面に崩壊が発生し、倒木を含む崩落土砂が下部に流出した。流出した土砂は、南沢合流地点手前で不安定な状態で堆積している。</p> <p>このため、山腹工による崩壊地の復旧及び、溪間工による不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 溪流工 1 基・山腹工 0.32ha ・ 主な保全対象 町道 470 m・林道 253 m ・ 総事業費 93,000 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	140,413	(千円)
	総 費 用 (C)	87,315	(千円)
	分析結果 (B/C)	1.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 現在も崩壊地の拡大が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等の際に崩壊地の拡大や溪床に堆積する不安定土砂が流出し下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧と溪間工により不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 7

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：奥地保安林保全緊急対策
施工箇所：南木曾33

都道府県名：長野県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,169	
	流域貯水便益	1,300	
	水質浄化便益	2,214	
災害防止便益	山地災害防止便益	132,730	
便 益 合 計 (B)		140,413	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		87,315	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{140,413}{87,315} = 1.61$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成26年度（3年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	伊奈川－15 （いながわ） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署南木曾支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県の南西部、木曾郡大桑村の東部に位置し、地質は、風化の進んだ粗粒な花崗岩類で構成され非常に脆弱である。また、木曾山地の急峻な地形のうえ、地理・地形的特性に起因する局所的な集中豪雨が頻発しやすい地区であり荒廃が進んでいる。</p> <p>近年の度重なる集中豪雨により、猿沢左岸側の斜面が侵食流下し、不安定土砂が崩壊地下部に堆積し民有林にまで及んでいる。また、崩壊地脚部に大桑村の村道が通過し、約1.3km下流には人家や発電所等の重要保全施設を有し早急な対策を要する。</p> <p>このため、山腹工による崩壊地の拡大及び表面侵食による土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 山腹工 0.71ha ・主な保全対象 人家等 3戸・村道 50m・橋梁1箇所 ・総事業費 134,000 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	230,122	(千円)
	総 費 用 (C)	124,952	(千円)
	分析結果 (B/C)	1.84	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 現在も崩壊地の拡大が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等の際に崩壊地が拡大し、下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧により下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・有効性： 本事業を実施することで、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号

8

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：長野県

施工箇所：伊奈川15

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	7,617	
	流域貯水便益	2,528	
	水質浄化便益	4,304	
災害防止便益	山地災害防止便益	215,673	
便 益 合 計 (B)		230,122	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		124,952	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{230,122}{124,952} = 1.84$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	北沢 （きたざわ） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 伊那谷総合治山事業所
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県南部の伊那山脈と赤石山脈に挟まれた茶臼山山塊の西側斜面に位置している。 地質は、砂岩・石灰石・チャート・緑色岩類・粘板岩等が中央構造線に平行して分布しており、変成の度合いが強く亀裂の多い脆弱なものとなっている。 平成22年7月下旬の梅雨前線集中豪雨により被災した箇所であり、平成12年施工山腹工施工箇所上部において崩壊が発生し、下流の前対遠山林道が被災した。そのため、山腹工の施工により早急に山腹崩壊の復旧をし遠山林道の保全を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 山腹工0.08 ha ・ 主な保全対象 林道160m ・ 総事業費 19,231 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	60,901	(千円)
	総 費 用 (C)	19,231	(千円)
	分析結果 (B/C)	3.17	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 現在も崩壊地の拡大が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等の際に崩壊地が拡大し、下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧により下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の検討に当たっては現地状況に最も効果的かつ効率的な工種・工法をが計画されており、費用対効果分析結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧し下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号

9

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山
施工箇所：北沢

都道府県名：長野県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,467	
	流域貯水便益	209	
	水質浄化便益	356	
災害防止便益	山地災害防止便益	58,869	
便 益 合 計 (B)		60,901	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		19,231	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{60,901}{19,231} = 3.17$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度～28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	青木川中流 （あおきがわちゅうりゅう） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 伊那谷総合治山事業所
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県南部の伊那山脈と赤石山脈に挟まれた茶臼山山塊の西側斜面に位置している。</p> <p>地質は、砂岩・石灰石・チャート・緑色岩類・粘板岩等が中央構造線に平行して分布しており、変成の度合いが強く亀裂の多い脆弱なものとなっている。</p> <p>平成22年7月下旬の梅雨前線集中豪雨により山腹崩壊が発生し、林道が路体決壊等の被害を受けた。緊急対応が必要な部分については災害復旧工事等で実施したところである。しかし、依然として、山腹崩壊地から土砂が供給され、溪流内には不安定土砂が堆積している。今後も降雨によって堆積した不安定土砂が下流に流出し、下流域の林道が被災する可能性がある。</p> <p>このため、山腹工による崩壊地の復旧および溪間工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 溪間工 3 基・山腹工 0.38 ha ・主な保全対象 林道 1,154 m・橋梁 1 箇所 ・総事業費 109,756 (千円) 		
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B) 182,864 (千円)</p> <p>総 費 用 (C) 109,756 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 1.67</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 現在も崩壊地の侵食が進んでおり、放置すると今後の集中豪雨等の際に、崩壊地の拡大や不安定土砂が流出し下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 10

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山
施工箇所：青木川中流

都道府県名：長野県

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,391	
	流域貯水便益	848	
	水質浄化便益	1,443	
災害防止便益	山地災害防止便益	174,182	
便 益 合 計 (B)		182,864	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		109,756	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{182,864}{109,756} = 1.67$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度～28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	赤沼田（大萱谷上流） あかんた（おおかやたにじょうりゅう） 岐阜県	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、岐阜県下呂市小坂町の南西、御嶽山の西側に位置しており、御嶽山・大平山・寺田小屋山の稜線に源を発する小坂川の水源地帯の一部を占めている。</p> <p>一般的に地形は急峻で露岩地帯となっている箇所もあり、基岩の濃飛流紋岩は、活断層や凍結融解等の影響により破碎・風化が著しく脆弱である。</p> <p>平成22年7月および平成23年8月の集中豪雨等により、連続して新生崩壊地が発生した。この崩壊により林道の路肩決壊や路体の埋没等の被害が発生した。崩壊土砂は溪流内に堆積しており今後の豪雨等により崩壊地の拡大や土石流による溪流内の不安定土砂が流出し、下流の保全対象に被害を与える恐れが高まっている。</p> <p>このため、山腹工による崩壊地の復旧及び溪間工・護岸工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 溪間工5基・護岸工1基・山腹工0.51 ha ・ 主な保全対象 市道 3,000m ・ 総事業費 173,100 (千円) 		
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B) 268,196 (千円)</p> <p>総 費 用 (C) 155,041 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 1.73</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪床内に堆積する不安定土砂の状況から、放置すると今後の集中豪雨等の際に、崩壊地の拡大や不安定土砂が流出し下流域に被害を与える恐れが高い。このため、山腹崩壊地の復旧と溪間工による山脚の固定と不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、崩壊地が復旧するとともに不安定土砂の流出が抑制され下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 11

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：岐阜県

施工箇所：赤沼田(大萱谷上流)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	8,201	
	流域貯水便益	6,847	
	水質浄化便益	11,659	
災害防止便益	山地災害防止便益	241,489	
便 益 合 計 (B)		268,196	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		155,041	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{268,196}{155,041} = 1.73$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	男川支溪 （おとがわしけい） （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県東部、三河丘陵の独立峰である本宮山麓に位置している。地質は、領家変成岩類によって覆われているが、これらの基岩は亀裂に富んでおり、剥離型落石を引き起こしやすく、溪床には転石が堆積し、流出土砂の生産源となっている。</p> <p>この地域一帯は、本宮山県立自然公園に指定され、闇苧溪谷内には休憩所、キャンプ場等のレクリエーション施設があり、多くの人々が訪れている。溪床内の堆積土砂が流出すれば林道等への被害が予想される。</p> <p>このため、溪間工による山脚の固定、溪床の侵食防止、不安定土砂の流出防止などを図り、下流域の保全及び保安林機能の増進に資することを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 溪間工 1 基 ・ 主な保全対象 林道200m ・ 総事業費 14,000 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	25,465	(千円)
	総 費 用 (C)	13,462	(千円)
	分析結果 (B/C)	1.89	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪床内に堆積する不安定土砂の状況から、放置すると今後の集中豪雨等の際に不安定土砂が流出し、被害を与えるおそれが高い。このため、溪間工による山脚の固定及び不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流域への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 12

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山
 施工箇所：男川支溪

都道府県名：愛知県

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	538	
	流域貯水便益	345	
	水質浄化便益	587	
災害防止便益	山地災害防止便益	23,995	
便 益 合 計 (B)		25,465	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		13,462	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{25,465}{13,462} = 1.89$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	三又谷 （みつまただに） （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県北部の岐阜県境に位置している。地質は、花崗岩でマサ土化が激しく、表層崩壊の発生や土石流災害の素因を有している。</p> <p>この地域一帯は、過去に土石流災害により大きな被害が発生した地域であり、その後、治山事業を実施してきた。しかしながら、部分的には溪流の荒廃が進行しているところも残されており、溪床内の堆積土砂が流出すれば県道等への被害が予想される。</p> <p>このため、溪間工による山脚の固定、溪床の侵食防止、不安定土砂の流出防止などを図り、下流域の保全及び保安林機能の増進に資することを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 溪間工 1 基 ・ 主な保全対象 県道40m ・ 総事業費 10,500 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	14,228	(千円)
	総 費 用 (C)	10,096	(千円)
	分析結果 (B/C)	1.41	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪床内に堆積する不安定土砂の状況から、放置すると今後の集中豪雨等の際に不安定土砂が流出し、下流域に被害を与えるおそれが高い。このため、溪間工による山脚の固定及び不安定土砂の流出を防止し、下流域の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより不安定土砂が安定し、下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と下流域への土砂流出防止が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号

13

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：愛知県

施工箇所：三又谷

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	714	
	流域貯水便益	265	
	水質浄化便益	451	
災害防止便益	山地災害防止便益	12,798	
便 益 合 計 (B)		14,228	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		10,096	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{14,228}{10,096} = 1.41$		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成24年度（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	瀬戸 （せと） （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県西部、名古屋市近郊の瀬戸市内に位置し、全域が愛知高原国定公園及び定光寺自然休養林に指定され保健休養の場を提供する重要な地域となっている。</p> <p>地質は、花崗岩や古生層を基盤とし、その上を礫岩、砂岩、粘土が覆っている。また、花崗岩のマサ風化や熱変成帯もあり、第三紀層は未固結の脆い岩も多い。</p> <p>平成23年9月の台風15号に伴う集中豪雨により、山腹崩壊が発生し倒木などの被害を受けた。</p> <p>この地域一帯は、都市近郊林であることから自然探勝の場として一年を通じて多くの人々が訪れており、小規模な荒廃といえども社会的な影響は大きく、きめ細かな治山対策が必要な地域である。崩壊地が拡大すれば直下の県道へ被害も予想される。</p> <p>このため、山腹工により崩壊地の拡大を防止し、県道の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 山腹工0.09 ha ・ 主な保全対象 県道50m ・ 総事業費 4,500 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	20,485	(千円)
	総 費 用 (C)	4,327	(千円)
	分析結果 (B/C)	4.73	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 崩壊地が発生していることから、放置すると今後の集中豪雨等の際に、崩壊地が更に拡大するおそれが高い。このため、崩壊地の復旧により県道の保全を図るため実施するものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性： 対策工の計画に当たっては、現地の状況に応じた適切な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することで、崩壊地が復旧し、県道の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進と崩壊地の復旧が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 14

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山
施工箇所：瀬戸

都道府県名：愛知県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	256	
	流域貯水便益	86	
	水質浄化便益	147	
災害防止便益	山地災害防止便益	19,996	
便 益 合 計 (B)		20,485	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		4,327	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{20,485}{4,327} = 4.73$		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成27年度（4年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	松川ほか （まつかわほか） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県の北西部の通称「中信地方」に位置し、北アルプスをはじめ、日本を代表する山岳地帯であり、中部山岳国立公園、上信越高原国立公園、八ヶ岳中信国定公園など優れた自然景観を有していることから、レクリエーションの森など、森林浴やスキー、登山等に広く国民に利用されるとともに、松本市などの重要な水源林として森林の持つ保健休養や水源かん養等の公益的機能発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林18%、天然林82%、人工林の樹種割合はカラマツ71%、ヒノキ18%、スギ5%となっている。</p> <p>事業対象森林は、VI～X 齢級のヒノキを主体とした林分で、過密状態などにより、このまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保持機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 森林整備 本数調整伐 1,068.83 ha ・ 総事業費 173,000 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	478,418	(千円)
	総 費 用 (C)	154,236	(千円)
	分析結果 (B/C)	3.10	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林の状況から、このまま放置すれば保安林の水土保持機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進を図るための適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 15

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林改良
施工箇所：松川ほか

都道府県名：長野県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	流域貯水便益	478,418	
便 益 合 計 (B)		478,418	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		154,236	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{478,418}{154,236}$		= 3.10

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）		事業計画期間	平成24年度～平成28年度（5年間）									
事業実施地区名 （都道府県名）	南滝越ほか （みなみたきごしほか） （長野県）		事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署									
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県南西部の木曾川流域の源流部に位置し、木曾川水系は発電用水とともに、中京圏の生活用水、工業用水の重要な水源地帯となっており、特に、牧尾ダム及び味噌川ダムは、濃尾平野などに多量の水を供給していることから、国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮に重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林45%、天然林55%、人工林の樹種割合はヒノキ66%、カラマツ28%となっている。</p> <p>事業対象森林は、VI～X齢級のヒノキを主体とした林分で、過密状態などにより、このまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保持機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 森林整備 本数調整伐 1,900.00 ha ・ 総事業費 395,000 (千円) 												
費用対効果分析	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総 便 益 (B)</td> <td style="text-align: right;">3,035,649</td> <td style="text-align: right;">(千円)</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td style="text-align: right;">345,555</td> <td style="text-align: right;">(千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">8.78</td> </tr> </table>				総 便 益 (B)	3,035,649	(千円)	総 費 用 (C)	345,555	(千円)	分析結果 (B/C)	8.78	
総 便 益 (B)	3,035,649	(千円)											
総 費 用 (C)	345,555	(千円)											
分析結果 (B/C)	8.78												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林の状況から、このまま放置すれば保安林の水土保持機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進を図るための適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>												

様式1

整理番号 16

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林改良
施工箇所：南滝越ほか

都道府県名：長野県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	流域貯水便益	3,035,649	
便 益 合 計 (B)		3,035,649	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		345,555	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{3,035,649}{345,555} = 8.78$		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）		事業計画期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	与川ほか （よかわほか） （長野県）		事業実施主体	中部森林管理局 木曾森林管理署南木曾支署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県南西部の木曾川流域に位置し、地形は急峻で、地質は深層風化の花崗岩地帯に加え降水量も多いことから崩壊が発生しやすく、そのうえ、山地と集落が近接しているとともに木曾川沿に所在する多くの発電所の発電用水の重要な水源地帯となっていることから、国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮に重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林45%、天然林55%、人工林の樹種割合はヒノキ66%、カラマツ28%となっている。</p> <p>事業対象森林は、VI～X 齢級のヒノキを主体とした林分で、過密状態などにより、このまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保持機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 森林整備 本数調整伐 1,432.90 ha ・ 総事業費 255,000 (千円) 			
費用対効果分析	総 便 益 (B)		1,346,236	(千円)
	総 費 用 (C)		223,395	(千円)
	分析結果 (B/C)		6.03	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林の状況から、このまま放置すれば保安林の水土保持機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進を図るための適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>			

様式1

整理番号

17

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林改良

都道府県名：長野県

施工箇所：与川ほか

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	流域貯水便益	1,346,236	
便 益 合 計 (B)		1,346,236	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		223,395	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{1,346,236}{223,395} = 6.03$		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	野積ほか （のづみほか） （富山県）	事業実施主体	中部森林管理局 富山森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、富山県東部に位置し、3,000m級の立山・後立山連峰を源とする黒部川、片貝川、早月川、常願寺川及び岐阜県の川上岳を源とする神通川があり、いずれも急流で日本海に注いでいる。</p> <p>各水系には、豊富な水資源を利用した発電用ダムが多数所在するとともに、中部山岳国立公園、朝日及び有峰県立自然公園等の優れた自然景観に恵まれた地域であり、森林浴や登山等に広く国民に利用されていることから、森林の持つ保健休養や水源かん養等の公益的機能発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林2%と低くそのほとんどがスギとなっている。</p> <p>事業対象森林は、Ⅷ～Ⅹ齢級のスギを主体とした林分で、過密状態などにより、このまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保持機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 森林整備 本数調整伐 69.99 ha ・ 総事業費 15,000 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	69,804	(千円)
	総 費 用 (C)	14,368	(千円)
	分析結果 (B/C)	4.86	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林の状況から、このまま放置すれば保安林の水土保持機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進を図るための適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 18

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：保安林改良
施工箇所：野積ほか

都道府県名：富山県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	流域貯水便益	69,804	
便 益 合 計 (B)		69,804	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		14,368	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{69,804}{14,368}$		= 4.86

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	濁河川ほか （にぎりごかわほか） （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、岐阜県中央東部の飛騨川流域に位置し、霊峰御嶽山などの山岳や飛騨川の溪谷美等の優れた自然景観に恵まれた地域であり、飛騨木曾川国定公園、位山舟山県立自然公園、御嶽山県立自然公園に指定されていることから、森林浴やスキー、登山等に広く国民に利用されるとともに、当地域の重要な水源林として森林の持つ保健休養や水源かん養等の公益的機能発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林72%、天然林22%、人工林の樹種割合はヒノキ67%、カラマツ15%、スギ10%となっている。</p> <p>事業対象森林は、VI～X 齢級のヒノキを主体とした林分で、過密状態などにより、このまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保持機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 森林整備 本数調整伐 2,137.99 ha ・ 総事業費 366,000 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	2,218,766	(千円)
	総 費 用 (C)	319,717	(千円)
	分析結果 (B/C)	6.94	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林の状況から、このまま放置すれば保安林の水土保持機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性は認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進を図るための適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

様式1

整理番号 19

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林改良
施工箇所：濁河川ほか

都道府県名：岐阜県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	流域貯水便益	2,218,766	
便 益 合 計 (B)		2,218,766	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		319,717	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,218,766}{319,717} = 6.94$		

事前評価個表

事業名	保安林改良（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成27年度（4年間）									
事業実施地区名 （都道府県名）	品野ほか （しなのほか） （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所									
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛知県西部に位置し、東部に美濃三河高原のなだらかな山並みが、北部には尾張丘陵や洪積台地が連なり、国有林は数百ha程度の小団地に分散・点在し名古屋市などの都市近郊林となっている。愛知高原国定公園、本宮山県立自然公園及び犬山八曾自然休養林、定光寺自然休養林等に指定されているなど、自然景観の保全形成及び国民の保健休養の場の提供など公益的機能の発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林81%、天然林19%、人工林の樹種割合はヒノキ47%。スギ10%、アカマツ・クロマツ33%となっている。</p> <p>事業対象森林は、IV～X 齢級のヒノキを主体とした林分で、過密状態などにより、このまま放置すれば、表土の流出による崩壊や土砂、流木の流出が発生する恐れがある水土保持機能が著しく低下した保安林となっている。</p> <p>このため本数調整伐等の森林整備を行い、水源かん養機能、山地災害防止機能など、保安林が持つ公益的機能の維持、増進を図ることを目的に本事業を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 森林整備 本数調整伐 168.83 ha ・ 総事業費 39,000 (千円) 											
費用対効果分析	<table> <tr> <td>総 便 益 (B)</td> <td>108,913</td> <td>(千円)</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td>34,970</td> <td>(千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>3.11</td> <td></td> </tr> </table>			総 便 益 (B)	108,913	(千円)	総 費 用 (C)	34,970	(千円)	分析結果 (B/C)	3.11	
総 便 益 (B)	108,913	(千円)										
総 費 用 (C)	34,970	(千円)										
分析結果 (B/C)	3.11											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林の状況から、このまま放置すれば保安林の水土保持機能が著しく低下し、表土の流出による下流域への被害が懸念されるため事業の必要性は十分認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業を実施することにより、低下した保安林の公益的機能が回復するとともに、崩壊地の発生による土砂や流木の流出が未然防止され、下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の持つ公益的機能の増進を図るための適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

様式1

整理番号 20

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林改良
施工箇所：品野ほか

都道府県名：愛知県

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	流域貯水便益	108,913	
便 益 合 計 (B)		108,913	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)		34,970	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{108,913}{34,970} = 3.11$		